

## 三沢基地研修に参加して

三菱重工業株式会社  
航空宇宙事業本部統合防衛システム室  
阿形 律子

前の週に降った雪が残る JR 三沢駅にて、JAAGA 常任理事をはじめ、空自の方々のお出迎えを受け、青く澄み切った青空と凜とした外気に、2 日間の研修への期待に身が引き締まる思いがしました。

百合団長殿以下総勢 23 名は、北部航空方面隊司令部を表敬訪問し、内田副司令殿の講話を拝聴し、F-2、F-4、パイロットシミュレータ等の装備を擁し北の空の守りを主任務としての活動、日米の連携、地域に密着した三沢基地についての理解を深めました。特に、F-2 のゲームでの初海外訓練、積雪の多い地域ならではの冬の訓練や飛行場の除雪作業のご苦労話等が印象的でした。

F-2 と F-4EJ 支援戦闘機の実機展示の後、アーク地区では、24 時間体制で、領空に侵入する恐れのある国籍不明機に対し、5 分以内で緊急発進ができること、スクランブルの回数が増加傾向にあること等、日本の防空の切迫した実情をご説明頂きました。スクランブルのデモでは、緊急発進指令装置を押すという大役を仰せつかり、緊張しながら渾身の力と思いを込めて押しました。G スーツに身を包んで待機しているパイロットの方々 2 名が、私の合図と同時に部屋を飛び出し F-2 に搭乗、整備の方々をはじめ大勢の自衛官が、国防のために日夜命を掛けて任務を遂行されている雄姿を目の当たりにして感動致しました。

充実した一日目の空自三沢基地研修も無事終わり、米軍の宿泊施設「MISAWA INN」（JAAGA ならではの特別な計らいで通常では民間の日本人は泊まれないとのこと）にチェックインしました。アメリカサイズのゆったり充実した設備で快適に寛ぐことができました。クリスマスの飾り付けが素晴らしいオフィスクラブでの夕食会では、ディナーをいただきながら、親しく歓談できたことも楽しい思い出となっています。

二日目の米軍三沢基地研修は、米空軍第 35 戦闘航空団にて、基地の概要や F-16 の任務等の説明があり、イラク等での輝かしい実績を認識し、その後の日米両国の国旗の前に展示されている F-16 戦闘機と搭載シミュレータ等を見ながらのブリーフィングは、米航空遠征軍の一員等としての任務を実感する以外のものではありませんでした。

エンジン整備施設のエンジン単体のアフターバーナー試運転では、間近で轟音と風圧で体中が振動するという得難い体験ができました。

マローン副司令殿は、広い基地内に整然とならぶ格納庫（掩体壕）や米軍の充実した施設（ゴルフ場、アスレチック施設、チャペル等）を時折ユーモアを交えながらバスでご案内くださり、まるで米国本国に来ているような錯覚を覚えました。

三沢基地は、北の防衛の要として、訓練や各種行事等を日米が協力して行う日米安全保障の重要な位置づけであるということを実感した有意義な研修でした。お忙しい中、ご対応いただきました米軍の方々、空自の皆様に心からの御礼を申し上げます。最後になりましたが、このような貴重な機会を企画いただきました日米エアフォース友好協会の皆様には感謝致します。どうも有難うございました。

以上